

## 下呂農林事務所の普及活動状況 令和8年1月31日現在

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■青年農業士 キャリア教育講話を実施

1月27日、竹原小学校の6年生を対象に、青年農業士会の会員2名が講師を務めるキャリア教育講話を行いました。

はじめに、児童が農業にどのようなイメージを持っているか発表してもらったところ、良いイメージとしては「収穫の達成感がある」

「農業機械がカッコいい」「優しい人が多い」などの意見が挙がりました。一方で、「休みがない」「暑くて大変」「天候に左右されて安定しない」といった大変さに関する意見もありました。

その後、講師から自身の経営品目の紹介や、昔と比べて機械化が進み作業が楽になっている点などについて説明し、児童たちは熱心に耳を傾けていました。

青年農業士会としては、農業が将来の選択肢の一つとして、子どもたちにより身近に感じてもらえるよう情報発信を強化しつつ、今後も担い手の確保に向けた取組みを積極的に進めたいと考えています。

農業普及課では、会員の熱意に応え、より充実した活動が実施できるように引き続き支援します。

(地域支援係)



【青年農業士による講話の様子】

### ぎふ農畜水産物のブランド展開

#### ■水稻生産者 美味しい米づくり個別相談会を支援

1月30日、JAひだ益田営農センターにおいて、「良食味米生産相談会」が開催され、3名の水稻生産者が参加しました。

この相談会は、昨年秋に開催された「第11回飛騨の美味しいお米・食味コンクール」の出品者を対象に、今回JAひだが初めて開催したもので、食味分析や土壌診断の結果等に基づき、美味しい米づくりに向けた来年度の栽培管理について、JA営農指導員と農業普及課担当者から助言を行いました。

参加者からは「次の作付けに向けて取り組むべきことが明確になった」などの感想が聞かれました。

農業普及課では、美味しい米づくりに向けた生産者や関係機関の取組みを、今後も支援して行きます。

(地域支援係)



【良食味米生産相談会の様子】